

2011年(平成23年)10月24日 月曜日 地域総合 (20)



第53代
横綱琴桜を顕彰

写真や化粧
まわし展示

倉吉淀屋に記念館

来年3月まで

倉吉市出身の第53代横綱・琴桜を顕彰する記念館が23日、同市東岩倉町の市指定文化財「倉吉淀屋」内にオープンした。化粧まわしや額、写真などが一堂に展示され、往時をしのばせている。記念館は、来年3月25日まで期間限定で開館する。琴桜(本名・鎌谷紀雄氏)は現役時代、一気に攻める押し相撲で活躍し、第53代横綱と

なった。引退後は、佐渡ヶ嶽親方として多くの関取を育てた名伯楽としても知られ、2003年に同市の名誉市民に選ばれている。07年8月14日に66歳で亡くなった。

記念館は、琴桜の顕彰とともに、地域振興を図るために設置。同部屋やゆかりの人たちから借り受けた11種類、約40点が展示されている。

横綱土俵入りで用いた打吹山などがデザインされた横綱、太刀持ち、露払いの三つぞろいの化粧まわしをはじめ

め、優勝額や横綱昇進後にもある。開館記念式典には、娘で同部屋おかみの鎌谷真千子さんも列席。「父が故郷の話をしな

らないうちから、開館を喜んでいました。目標を持って努力することの大切さを感じてもらえば、父も喜ぶと思います」とあいさつし、開館を喜んでいました。